

目を凝らしチャンスつかめ!

チャンスは「ふりかけ」のように一。トラスコ中山は都内で入社式を開き、前日まで4日間の合宿研修を終えた97人が晴れやかに社会への第一歩を踏み出した。同社業績はプラス基調が続いているが、物流センターの自動化が進んでいることを反映し、採用人数は前年度より21人少なかった。

中山哲也社長は新入社員への祝辞で、失敗すること、質問する前に答えを考慮することなどが重要だとする八つの心構えを語った。その中で、「チャンスは万人に「ふりか

トラスコ中山入社式



新入社員に記念品を手渡す中山社長㊦

け」のように降り注がれている。目を凝らし、頭を磨き、何事にも興味を持てばチャンスは巡ってくる」と、中山社長らしい独特の言い回しで激励した。

また、「売上高を2000億円にするのに60年もかかったのが1番の反省点。今後は成長のテンポを上げたい」と令和元年入社の新戦力に呼びかけた。新入社員は原則、初年度に全国の物流センターで基礎を学び、その後、営業所などに配属される。